

避難訓練（11月25日）

11月25日（月）の6時間目に地震と火災を想定した避難訓練を行いました。まず教室で担任より地震や火災に備えるための心構えや対応方法の説明があり、その後、緊急地震速報を鳴らして訓練に入りました。揺れのある間は机の下に入り、揺れが収まってからは、火災が発生している理科室を避けてグラウンドに避難しました。グラウンドでは各クラスの保健委員が代表して水消火器を使った消火訓練をしました。訓練はスムーズに進行しましたが、全体的に緊張感が足りないと感じたので、校長からは厳しめの講評をしました。

今年は元旦の能登半島地震をはじめ、8月には日向灘の地震により初めての南海トラフ地震臨時情報が発令されました。また最新の気象庁の情報によると、今後30年以内に南海トラフ地震が起こる可能性は70%～80%と高確率になっているとのことです。万一の時に身の安全を守るためにどういう行動をとればよいか、いろんな場所・時間帯をシミュレーションし、確認をしておく必要があります。また今回避難訓練をしたことをきっかけに、家族で緊急時の連絡や避難場所、家具の固定、食料や水の確認などをして、いつ起こるか分からない災害に備えるようにしてほしいと思います。

